

韓慶愈様ご一行、佐藤徹郎様、門馬正様 御来訪に伴う報告書 VER03 (2019-12-23 訂正)

2019年12月4日

文責・写真 佐野馨

協議 魏亜玲、細木由里子

1. はじめに

11月30日(土)小松電機産業本社太陽ホールにおいて「日本の縁結びから世界の縁結びの地へ平和の事業化を通じて対立から共生の文化へ」講演会、シンポジウムが開催されました。

この講演会、シンポジウムにつきましては、別途に岸本様から、講演会・シンポジウム報告書としてまとめておられますので、詳細は省略させていただきます、

11/29 韓慶愈先生ご来島、燕趙園、日吉公園 周藤弥兵衛像、本社ご案内、

11/30 韓慶愈先生 イップ常子様をお迎えしての シンポジウム開催、

12/1 韓慶愈先生 出雲大社 日御碕 キルト美術館 足立美術館ご案内、

12/2 韓慶愈先生 境港商工会議所 境港市役所 出雲空港お見送り

の概要について、下記報告いたします。

2. (1日目) 11/29 韓慶愈先生ご来島、燕趙園、日吉公園 周藤弥兵衛像、本社ご案内、

羽田からJAL279便で、11:40出雲空港へご到着

韓慶愈様、韓洋様、韓麗様、佐藤徹郎様 門馬正様、浜菜みやこさん同行



韓慶愈様、韓洋様、韓麗様ご到着 : 小松社長、魏さん 出迎え、



門馬様、佐藤様 浜菜さんご到着

★燕趙園へ移動



13:30 伯耆大山の眺望



14:30 燕趙園へ到着

★中国庭園 燕趙園（鳥取県東伯郡湯梨浜町引地 565-1）見学、



孫子像 韓先生 車椅子を降りられて 孫子像台座裏側の寄贈説明をご確認



孟子像、 孔子像 の廻りも歩かれて、像台座の説明をご確認
孔子像 孟子像



園長 松浦稔様 門馬様、小松社長 韓先生、佐藤様、韓洋様

西王母と八仙人



小松社長 韓先生、佐藤様、門馬様、韓洋様



園長 松浦稔様の説明



小松社長のご説明

雑技演技 15:00～ 15分 爾後 石碑見学



小松社長のご案内で石碑見学



15:45 見学終了

松江へ移動

八雲町 日吉親水公園 周藤弥兵衛像 視察 小松社長よりご説明 17:20



会社着 17:45、小松社員の皆様 整列してお出迎え

ホールから太陽ホールへ



シートシャッター見学

太陽ホールで説明受け





会社視察(門番事業、水神事業、研究所事業)を終了 18:30

3. (2日目) 11/30 韓慶愈先生 イップ常子様をお迎えしての シンポジウム開催
ホテル迎え 魏さん(運転)、韓慶愈様、韓洋様、韓麗様、佐藤様、門馬様、
本社訪問、見学



シンポジウム 開催前

研究所のあゆみ ビデオ放映

日本の縁結びから世界の縁結びの地へ 平和の事業化を通じて対立から共生の文化へ

小松電機産業株式会社・人間自然科学研究所の活動を背景に、安重根・伊藤博文・ズットナー・周藤彌兵衛翁を現代に蘇らせ、対立から共生の文化を拓き、地方創生の世界・全国モデルとして世界縁結び「水と火と健康寿命の聖地」構想の実現を「八雲立つ日本・出雲」から全国世界へ発表。この度、中国の科学技術の発展のために創設された社団法人日中科学技術文化センター創設者であり、日中物流合作連盟会長を務められる韓慶愈氏と、オーストリア公認国家ガイドを務め、松江講演 6 回、日本講演 100 回を迎えられるイップ常子氏をお招きし、対立から共生の文化へシンポジウムを開催。シンポジウム開幕にあわせてプロの演奏家によるハープ・ヴァイオリン・フルートの演奏をお聴きいただけます。



韓慶愈
東方文明振興会 会長
日中物流合作連盟 会長



イップ常子
オーストリア公認
国家ガイド



門馬正
マテリアルワールド (株)
Senior Manager



佐藤徹郎
編集者



磯江公博
(社)防災行政無線研究所 理事長
(株)エナテックスファーム 代表取締役



小松昭夫
小松電機産業 (株)
人間自然科学研究所
代表取締役



魏亜玲
小松電機産業 (株)
人間自然科学研究所 理事

令和元年 **11月30日(土)**

時間 **13:00 ~ 17:00** 開場 12:30
場所 **太陽ホール (小松電機産内)**



司会：浜葉みやこ
「おはようサンデー」
ラジオパーソナリティ

13:00 ~ プロの演奏家による
ハープ・ヴァイオリン・フルートの演奏

【講師プロフィール】

◇韓慶愈



1926 年中国遼寧省生まれ。1943 年、戦時下の日本に留学。戦後、国際新聞東京支社にて記者をしながら 1953 年東京工業大学卒業後、華僑新聞「大地報」を創刊。中国人留學生の愛国学習運動に積極的に参与し、中国留日同学總會の主席に就任。卒業した留學生と在日同胞の帰国支援に加わり、新中国誕生後も韓氏は日本に残って華僑関連事業に従事。「近代の中国人による日本留学史の生き字引」と呼ばれる。



詳細プロフィール
PDF: 1.9MB



篠崎史子
ハープ奏者

破魔澄子
ヴァイオリニスト

トーマ・ブレヴォ
フルート奏者

13:15 ~ 主催者挨拶

13:20 ~ 韓慶愈 基調講演
テーマ「私の一帯一路の夢」

14:10 ~ イップ常子 基調講演
テーマ「日奥 (オーストリア)
修好 150 周年を記念して」

15:00 ~ 屋外記念撮影後、休憩

15:20 ~ パネルディスカッション
テーマ「対立から共生の文化へ」
コーディネーター：小松昭夫
パネリスト：佐藤徹郎、門馬正、磯江公博、魏亜玲
尹熙竣 (韓国)、E.Suthipong (タイ)：テレビ会議参加

◇イップ常子

1973 年ウィーン大学に留学。1974 年に結婚し、3 人の子供たち家族と 6 人の孫たちに囲まれウィーン在住 46 年。2001 年オーストリア公認国家ガイド資格取得。オーストリアと日本の懸け橋として、主に相互の文化交流イベントをはじめ、オーストリア国内、ドイツ、チェコ、ハンガリー、スロバキア、スロベニア、クロアチアなど近隣国への観光案内、通訳に従事。2009 年ロングステイ・オーストリア社設立。2010 年からオーストリア・ウィーンに関する講演を日本各地で開催し、この度の松江で 100 回記念講演を行う。



講演会
イベントページ

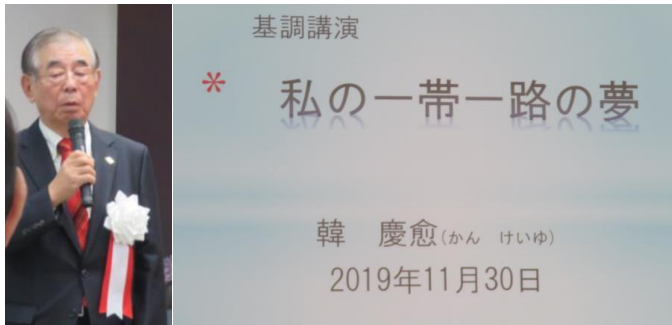


人間自然科学研究所

TEL/050-3161-3846 FAX/050-3161-3846
メール webmaster@hns.gr.jp 小松電機産業株式会社



破魔様ご一行 コンサート（破魔澄子様、トーマ・プレヴォ様、篠崎史子様）



社長挨拶

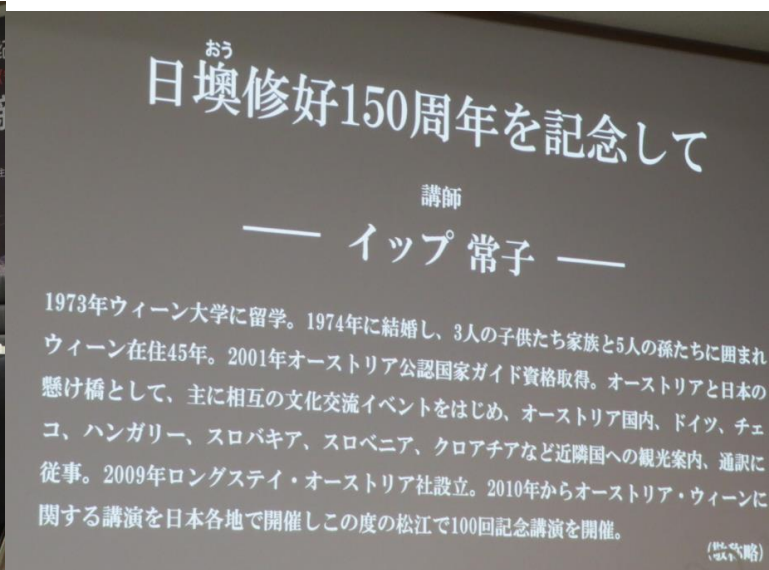
韓慶愈先生 基調講演



韓慶愈先生より書籍の贈呈受け

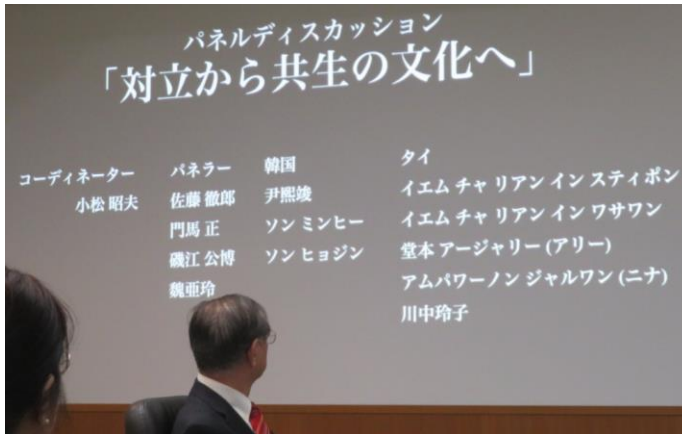


小松社長より韓先生に贈呈



オーストリア公認国家ガイド イップ常子様 基調講演





韓慶愈先生とイップ常子様 固い握手

4. (3日目) 出雲大社 日御碕 キルト美術館 足立美術館ご案内、
ホテルを出発、出雲大社へ移動 出雲大社参拝

9:30~10:30



出雲大社 勢溜大鳥居 佐藤様 小松社長 韓麗様 韓先生 韓洋様 門馬様、



出雲大社 下り参道下 佐藤様 小松社長 韓先生 韓洋様 門馬様

後方に松の参道



出雲大社 拝殿

門馬様

韓先生

小松社長

佐藤様



出雲大社 御本殿 佐藤様 小松社長 韓先生 門馬様



出雲大社 神楽殿 韓洋様 佐藤様 門馬様 韓先生 小松社長



さざれ石

出雲キルト美術館へ移動

出雲キルト美術館 コンサート「令和の響と彩」鑑賞・館内展示作品見学

13:50～15:00

出雲キルト美術館
The Iwano Museum of Quilt Arts

令和新時代の音と彩り融合コンサート



日本を代表するハープ奏者
ハープ奏者
篠崎 史子氏



カーネギー・ホール・リサイタル・アーティストの経験、
所属人脈者で「アジア文化庁」の
音楽家として活躍する
ハープ奏者
破魔 澄子氏



世界最長のフルート奏者の
一人として活躍する
フルート奏者
トーマ・プレヴォ氏

令和の響と彩

令和元年 12月1日(日)

Beautiful Harmony

コンサート前後1時間美術館の作品を自由にご覧いただけます

出雲キルト美術館冬季企画展
「鳥と雪」展を開催
11月28日(木)～2月25日(火)
新作の「おしと」と雪や鳥といった
冬の情景を表現した作品をご覧ください。



当日は駐車場が混み合うため乗り合わせてお越しくださいませ
●出雲大正より約10分 ●車に10分以内 ●徒歩10分以内
●出雲大正より約25分 ●徒歩10分以内 ●徒歩10分以内

申し込み用紙 ▶

●申込用紙にご記入の上、FAXいただくか、申し込み用紙の内容を電話、メールにてお申し込みください。
●希望が多い場合は、申込みとします。

参加希望者数		お支払いとチケット受け渡し方法	
一般(5,000円)	名 合計 円	☐ 当日受付で代金と引き換え	☐ 銀行振込
小中高生(2,500円)	名 合計 円		
住所	〒		



八幡垣睦子様の挨拶



←コンサート開会挨拶 ・ ↓司会 演奏曲紹介



破魔様ご一行 コンサート（破魔澄子様、トーマ・プレヴォ様、篠崎史子様）

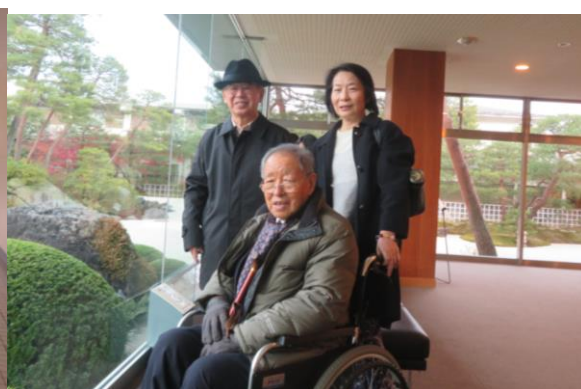


出雲キルト美術館

門馬様 韓先生 小松社長 佐藤様

足立美術館へ移動して 足立美術館見学

15:50～17:00



門馬様

韓先生 小松社長 佐藤様



門馬様 韓先生 小松社長 佐藤様



5. (4日目) 境港商工会議所 市役所 なかうら 出雲空港お見送り

ホテル出発、境港へ移動

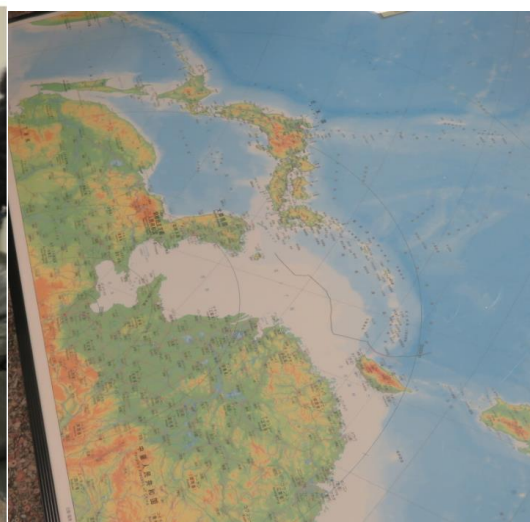
韓慶愈様、韓洋様、韓麗様、佐藤様、 社長、佐野、魏

境港市商工会議所 訪問

10:15 ～ 10:40



小松社長、韓先生と足立統一郎様(環日本海経済活動促進協議会 会長、鳥取県国際経済顧問、境港商工会議所 名誉会頭)



足立統一郎様より北京起点の地図を説明受け

樺太 北海道 本州 九州 沖縄列島 台湾で封鎖

境港市役所 訪問 【ご案内 足立統一郎様】

境港市長 表敬訪問 (15 分の予定が 30 分の面談となる)

10:55 ～ 11:25



小松社長 境港市長 中村勝治氏 韓先生



足立統一郎様 小松社長 中村境港市長 韓先生



佐藤様 足立統一郎様 小松社長 中村境港市長 韓先生 魏様 境港市産業部長 阿部英治様



小松社長 中村境港市長 足立統一郎様 韓先生 魏様



ヤマト所長様 佐藤様 小松社長 韓先生 中村境港市長 足立統一郎様



韓慶愈 先生 と 中村勝治 境港市長

境港の港、見学 大雨のため 車の中からの見学となりました。



水木ロード 見学 大雨のため 車の中からの通過見学となりました。





出雲空港へ移動 出雲空港着 出雲空港発、JAL284 便で羽田へ 羽田空港着



韓先生ご一行様と佐藤徹郎様 羽田空港へ移動



韓慶愈先生のご紹介記事例

http://www.peoplechina.com.cn/zrjl/201906/t20190614_800170722.html

「友好こそ中日の正しい選択」在日 76 年の韓慶愈さん・人民中国

www.peoplechina.com.cn > 首页 > 中日交流・キャッシュ

2019 年 6 月 14 日・王衆一＝文. 中日交流事業に尽力してきた老華僑の韓慶愈さん（93）は 2018 年秋、家族の付き添



いの下、妻である韓美津さんの遺灰を持って北京・居庸関近くの共同墓地「懷思堂」を訪れた。かつては伊東美津といい、70 年近く困難の中で助け合って暮らしてきたこのパートナーを、以前から気に入っていた墓に丁重に葬った。また、19 年の暮春には、原籍地である山東省膠南（現山東省青島市黄島区）に帰り、祖先を祭るという長年の宿願を果たした。日本で 76 年生活してきたこの老大人はどのような非凡な人生を送ってきたのか？ 祖国にどのような捨て難い感情を抱いているのか？ 中国と日本の間でどのようなかけがえのない役割を果たしてきたのか？ 韓さんはこのほど北京で本誌の単独インタビューに応じた。

ある華僑の戦後日中関係史―日中交流のはざまに生きた韓慶愈 www.amazon.co.jp/...



戦前に満州国からの留学生として来日した、東北地方出身華僑男性・韓慶愈氏の激動の半生記。「アメリカ側につけば日本人に殺され、日本側につけばアメリカ人に殺されるだろうという戦中の状況や、終戦直後に来日した国民党代表団が「傀儡政権（＝満州国）から派遣されてきたお前たちも、傀儡と同然だ」と言い放った時の驚愕と落胆、1947 年の台湾での 2・28 事件を機に抱き始めた国民党への懐疑、日本共産党への入党と離脱、華僑帰国運動の際に中国へ帰国を試みるも「国にみんな帰ってしまったら、日本にいる華僑の面倒は誰が見ますか」という上役の一言によってそのまま日本へ帰還、などを経て、韓氏は本格的に日本での諸事業を手掛け始める。中国語新聞「大地報」の創刊をはじめとして、日本の優れた技術を中国に紹介する構想立案と雑誌「日中貿易」の創刊、文革のさなか苦

労しながらの「日本工業技術」の創刊、改革・解放体制に伴う外資導入のための日本企業向けセミナーの開催、中国向け日本企業広告の取り扱い開始、中国での日本アニメ「鉄腕アトム」放映の企画実現、「小売部」という名称の免税店の開店、社団法人日中科学技術文化センターの立ち上げ、中国での日本製生活用品展覧会開催など、数多くの事業の先駆けとなった。現在でこそこれらの事業は当たり前のように行われているが、当時ではどれも一から切り開いてゆくパイオニア的作業であり、まさに、「これぞ男の仕事」であろう。本書によって、一流の半生から非常に多くのものが学べる。

韓慶愈先生のインタビュー映像。次のアドレスから見られます。

<https://v.qq.com/x/page/z0925hs9dpg.html> 「人民中国」（日本語）雑誌の総編集長よりのインタビューです。中国語で話されていますが、日本語の字幕が付いています。



2019/12/02 (月) 23:49 小松社長、皆様

お世話になっております。

今日の朝「5:00AM」 予定通り無事バンコクに到着致しました。

貴社滞在中は大変お世話になり誠にありがとうございました。

今回貴社訪問で様々な収穫がありました。

- 1) 社長の事業に対する考え方。
- 2) 社長の社会貢献、文化事業への貢献への考え方
- 3) 素晴らしい皆様との出会い。
- 4) 美味しい料理と観光

等々大きな収穫が有りました。

と同時に社長の人脈の広さ、そして大変きめ細かい、心温まる皆様の心遣い等々素晴らしい体験をさせて頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

私としては、微力ではありますが、貴社事業が益々発展できるよう積極的にかかわりたいと考えております。また、一方で、今後更にお世話になる事も有るかと思いますが、宜しくお願い申し上げます。

追伸：本日、7:00PMに川中様にお会いして、貴社訪問報告を致しました。 以上

門馬 正

2019/12/06 (金) 11:10

小松昭夫様 西川勝巳様 佐野馨様 魏亜玲様 細木由里子様

ごていねいなメール拝受。こちらこそ、ありがとうございました。

お訪ねした四日間、出発した羽田から、帰りの出雲空港まで、

小松社長はじめ、西川勝巳さん、佐野馨さん、魏亜玲さん、細木由里子さんにはことのほか親身のお世話になりました。深く感謝します。

御地の新鮮な空気を満喫し、御社の皆様の「健康な体温」を感じた四日間でした。

五〇年史編纂に向けてインタビューした方々が、これまでの仕事を振り返りながら思わず肩をたたき合って破顔大笑された姿に感動しました。

企業は生命体であると私は言い続けてきましたが、まず「健康」な企業であることが求められます。

その点、御社には極めて健康な精神力と体力が漲っていると実感します。

これが、共生の文化をはぐくむ力になっているのでしょう。

健康な体温を感じさせてくれるのは心地よいものです。お礼まで。佐藤徹郎

From: 細木由里子 Sent: Wednesday, December 4, 2019 2:17 PM

To: 佐藤徹郎様 Cc: 小松昭夫 ; 佐野馨様 ; 魏さん ; nisikawa@komatsuelec.co.jp

Subject: 11月30日シンポジウム御礼

佐藤 徹郎 様

この度、私共主催のシンポジウムでは、大変お世話になりました。

ご多用の中お越しいただき、またパネラーとしてご登壇下さり、

貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。

50 年史に関するインタビューとシンポジウム、観光など

過密なスケジュールでございましたが、お疲れが出ませんでしょうか。

社長の小松はじめ、私共からの御礼状を添付にて送らせていただきます。

なお、写真や動画のアドレスはお礼状にも書いてありますが、

次のようにここで再度ご案内させていただきます。

写真集、ダイジェスト動画、資料を 人間自然科学研究所のホームページに掲載いたしました。

- ・写真集

<https://www.hns.gr.jp/download/20191130eventphoto.pdf>

- ・ダイジェスト動画

<https://www.youtube.com/watch?v=45z460BOUNQ&feature=youtu.be>

- ・お渡しさせていただいた資料

<https://www.hns.gr.jp/download/20191130eventfile.pdf>

- ・人間自然科学研究所ホームページ

<https://www.hns.gr.jp/>

今年もあと残り 1 ヶ月弱となり、押し迫って参りました。

どうぞお身体にはご留意下さいませ。

またお目にかかる時を楽しみにいたしております。

小松電機産業株式会社

総務部 細木 由里子

2019/12/11 (水) 7:54

小松電機産業株式会社 小松社長様

総務部 細木 由里子様

ご連絡ありがとうございます。

11月30日には大変お世話になりました。また例年ながら講演をさせていただきまして心より感謝申し上げます。12月2日無事帰国いたしましたが、ウィーン空港着後は小雪が降り、寒さも一段と厳しく、その上3週間も家を空けていましたので、山と積もった雑用の処理などに追われ、お礼のメールが大変遅れましたこと、どうぞお許しく下さいませ。

お写真を拝見させていただき、再度お礼を申し上げます。

今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。

Ipp 常子

【西川所感】 シンポジウム所感より転載

今回前日の夜の会食にも参加させて頂きました。会食の席でも韓先生は93歳とは思えないほど大きな声で、又豊富な経験を基に話され非常に興味深く聞かせていただきました。講演の中でも話されましたが、今回おいでになっていた娘さんが5歳の時に中国の勉強をさせるために上海に単身で送った。当時は中国との国交がなかったのでヨーロッパの商船に乗せたと話され非常に驚きました。

常に学ぶということを意識されており、今回も小松社長からいろいろ学びました、一生学ぶという姿勢をもっていきますと何度も言っておられ、私たちもそのような姿勢を忘れないようにしなければと思います。講演では「私の一帯一路の夢」についてもっと話したかったように見受けられ、もう少し話が聞けたらよかったと思いました。

50年史の編纂をされる佐藤徹郎さんが今回のシンポジウムの参加に併せて社員にインタビューをされることになり、事前の資料の準備や送迎等をやらせて頂きましたが、常に「お世話をかけます。有難うございます。」と言って頂き本当に気持ちよくお世話をさせて頂くことが出来ました。

【浜菜所感】 シンポジウム所感より転載

【韓先生のお姿から学ぶ、小松社長から教えて頂いた江戸時代の儒学者「佐藤一斎先生」の言葉：】

シンポジウムの前日、韓先生、ゲストの皆さま、小松社長とご一緒させて頂いた会食の席で、韓先生が「私は今小学生です。小松社長から色々教わりに来ました」

と、小松社長に深々と頭をさげられていました。同席させて頂いていた私は、韓先生の幾つになっても学ぶ心を持ち続けられるお姿に深く感銘を受けました。そのことを小松社長にお伝えさせて頂いたら、小松社長から江戸時代の儒学者、佐藤一斎（さとう いっさい）先生の言葉を教えて頂きました。

「幼にして学べば壮にして成す
壮にして学べば老して衰えず
老にして学べば死して朽ちず」

【意味】

「青少年時代に学べば、壮年になって為すことがある。

壮年時代に学べば、老年になって気力が衰えない。

老年時代に学べば、死んでもその人望は朽ちない」

※随想録「言志四録(げんししろく)」からの言葉です。この「言志四録」は指導者のための指針の書といわれ西郷隆盛なども愛読していたそうです。

この会食の席で、論語の言葉を引用して【小松社長がされたお話】も併せて共有させて頂きます。

『これを知る者はこれを好む者に如(し)かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如(し)かず』

(孔子(『論語』より))

「知ってやる人は好きでやる人にはかなわない。好きでやる人はこれを楽しんでやる人にはかなわない」

とここまで論語には書いてありますが、論語の時代は核ミサイルがなく、スマートフォンがない。

この世界で強制力を持ったのは国家だけ。論語のもう一つ上をいかないといけない。

それは『ゆかい』です。知ってやる人は親など人から言われてやる。

好きでやる人は、自分で好きだけど何かの拍子に嫌いになってしまう。

では、好きと楽しむはどう違うのか。楽しむは尊厳欲求。人から認めてもらうこと。関係性がないとダメ。

これは素晴らしいと誉められ、認められ、必要とされるから、もっと頑張ろうとなる。
好きよりも上達が違う。では『ゆかい』とは。松下幸之助が商売のコツとして「覚えた価値は百万両。
その心は天馬空を往く如く愉快なり」ということ言った。
やることなすことみんなうまくいく。迎えがくるまでうまくいくようになる。
これが『ゆかい』 モノは自分の心のありようにしか見えない。
この『ゆかい』の入り口は、今ここに 있습니다。

以上 小松社長の言葉より

【細木所感】

韓慶愈先生ご一行と門馬様、佐藤様、イップ様をお迎えして、3日間ご一緒する貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

韓先生のお元気な事、きちんとご経験として整理された確かな記憶力、気力、全てにおいて、27年若輩の私は、大変恥ずかしくなりました。特に、先生のお言葉の「一滴のご恩には、泉が湧き出るがごとくお返しをする」には、感銘を受け、このような、”一滴”のご恩を感じる心が、自分には足りていないと反省することばかりでした。門馬様はさりげなく、韓先生のサポートをして下さり、また人の話を丁寧に聴きになる姿勢には、学ぶべきところが多く、素晴らしいお手本をお見せいただきました。イップ様とは初対面でしたが、いらっしゃるだけで、イップさんのワールドになっていくようなエネルギーと明るさがあり、これは、子育てが終わって一度、無気力になられた時から国家公認ガイドという道を見つられて、それに向かって楽しく努力されて、今や100回を迎える講演をされるまでになられたという実体験とご自分の私生活が充実していることに起因しているように思いました。

社長がよく言われますが、「一度しかない人生。楽しく生きること」という姿を具体的にを見せていただきました。佐藤徹郎様も年齢とは思えない気力体力行動力で、当社の50年史編纂において、これまでの背景・きっかけ・プロセスをインタビューが始まり、未来に繋がるヒューマンドキュメントにするという、熱い念いをお聴かせいただきました。この出会いに感謝し、自分のこれまでを振り返り、活かしていきたいと思いました。ありがとうございました。

【佐野所感】

韓慶愈先生ご一行様と門馬正様、佐藤徹郎様、イップ常子様をお迎えして、4日間ご一緒する貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

11/29 韓慶愈先生ご来島、燕趙園、日吉公園 周藤弥兵衛像、本社ご案内、では、燕趙園で、韓先生より神奈川にも中国庭園があるとのご紹介をお受けしました。調査してみますと、川崎市：大師公園「瀋秀園」。川崎大師平間寺に隣接する公園で、野球場、テニスコート、プール、芝生広場などがあります。昭和62年に川崎市・瀋陽市姉妹都市提携5周年を記念して瀋陽市から贈られた中国庭園「瀋秀園」は人気の的になっているそうです。新たな中国庭園のご紹介を受け感謝いたします。



また、燕趙園での、中国雑技団の演技をご覧になって、以前に日本中をご案内したことがあるとのことで非常に懐かしく喜んでおられたご様子で嬉しく思いました。

11/30 韓慶愈先生 イップ常子様をお迎えしての シンポジウム開催、

イップ常子様が、オーストリア公認国家ガイドになられた経過は、以前に講演された様子が人間科学研究所に掲載のビデオで紹介されていますが、今回、あらためて国家ガイドになられたきっかけや経緯、ガイドでのよもやま話などをお伺いさせていただき貴重なお話を賜わりまして感謝いたします。

12/1 韓慶愈先生 出雲大社 日御碕 キルト美術館 足立美術館ご案内、

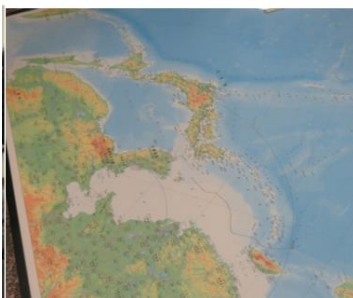


韓先生から、中国の「南水北調」のお話を伺いました。南水北調（なんすいほくちょう、中：南水北調工程）は、中華人民共和国の南方地域の水を北方地域に送り慢性的な水不足を解消するプロジェクト。総投資額は約 5,000 億元であり、規模は三峡ダムを超えた史上最大の工事の 1 つとされる。第 10 次 5 年計画の一環で西気東輸、西電東送、青藏鉄道とともに、西部大開発の目玉プロジェクトとして位置づけられる。「南水北調、5 年で北京に 52 億立方メートルの水供給 1200 万人を潤す」中国南部地域の水を北部地域に送り、慢性的な水不足解消を目指す「南水北調」プロジェクトの中央ルート第 1 期工事が 2014 年 12 月に完成してから 5 年近くが経つ。北京

市水務局によると、湖北省（Hubei）丹江口（Danjiangkou）ダムから北京市へ送られた水の総量は現時点で 52 億 300 万立方メートルに達しており、1200 万人を超える北京市民がその恩恵を受けた。地表水の水質基準も 2 類（飲用水）以上を常に維持している。（2019 年 11 月 19 日ニュース）

12/2 韓慶愈先生 境港商工会議所 境港市役所 出雲空港お見送り

境港商工会議所で、韓先生の境港寄港、出港、寄港の回想話の中で、足立統一郎様から、玉栄丸爆発事故のご紹介あり。玉栄丸爆発事故（たまえまるばくはつじこ）は、第二次世界大戦末期の 1945 年 4 月 23 日に鳥取県西伯郡境町大正町（現・境港市）で起きた爆発事故である。同日午前 7 時 40 分ごろ、岸壁で爆薬の積み下ろし作業中であった徴用船・玉栄丸（尼崎汽船所属、1917 年建造、937 トン）が突然、爆発した。爆発は岸壁近くの火薬倉庫にも引火、複数回の大爆発を誘発した。この爆発で生じた火災により、境町の市街地の 3 分の 1 が焼失。この事故による被害は死者 115 人、負傷者 309 人、家屋被害は全壊 355 戸、全焼 76 戸、倒壊焼失家屋 431 戸、被災人口 1,790 人にも上り、第二次世界大戦中の山陰地方で最大の火災となった。玉栄丸の乗組員のほぼ全員が死亡し、軍による情報統制が行われたため、戦後の長い間原因不明とされてきた。一説に謀略ではないかとの見方も存在したが、近年、上等兵による煙草の火の不始末が原因であるという証言（調査結果）も出てきている。とのことで歴史を学びました。



また、足立統一郎様から、北京を起点とする地図の説明を受け、樺太から北海道、本州、九州、沖縄列島、台湾の配列で、日本海、東シナ海が封鎖されている状態をまざまざと感じました。

境港市役所では、中村市長と韓先生とのお話で、韓先生の境港への寄港のお話などで、面会予定の 15 分をオーバーして 30 分近くの会談となりました。大雨になって車中からでしたが、境港の港もご覧いただき良かったと思います。

足立美術館は、日本一ではなくて、世界一の存在だと強調されていました。韓先生のビジネス感覚、物事のとらえ方の真髄を学ばせていただいたような感じがいたします。

4 日間の間に、車中も同行させていただき、お話をいろいろと賜わりまして、そして、韓先生の紹介記事、ビデオでのインタビュー映像や書籍「ある華僑の戦後日中関係史―日中交流のはざまに生きた韓慶愈」などで見聞を広めさせていただき、このような機会の場を賜わり感謝いたします。今後の知財活動、研究所の平和活動、環境活動、健康寿命活動に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

園長が「燕趙園」を観覧者の方を見下ろしていて、えました。

園長が庭園の概略を語ってくれた。それによると、島根県が25年前、西垂花門を落り小さい橋額（25億圓）の予算を渡って内門を抜けるんで、一ヘクタールの松浦緑さんが出迎えて園長の説明を聞きながら行きました。

園長に到着すると園いかにも長寿と幸せを授けていた様子でした。

園長は「燕趙園」を観覧者の方を見下ろして

韓慶恵氏は招待され島根県「燕趙園」を訪れた

車の中で、小松社長がの界隈は温泉場だよとえてくれた。確かに観の名所である。(元)

最のるな号は
選会は、華聯旅行社
毎年恒例となった景
5階の各階の満席卓
睦を深めたりと和気
の場となった。引き

作りの交流機会の一つとして活動しており、華僑科学者も業界も、「すてのモノ」がふがり、率と利便性が飛躍的に「明日の世界を描いて見せるのに余念が

「中国国家メディア」日本人の注目が日本

月刊中国ニュース
China

中国経済発展 白皮書

行方不明のサイバー空間

つなぐサイバー空間

680円

顔変換技術など、注
の話題を満載してい
。『月刊中国ニュー
』1月号発売中！定
680円（税込）。

華僑報
http://diog.liverpool.jp/cpb1og00402/
東京華僑總會
http://www.tokyo-chinese.com/
華僑報

100

日本一の純中国風庭園

島根県「燕趙園」を訪ねて

韓慶愈

今回は、東京華僑総会常務理事を務める韓慶愈氏による投稿記事を、本紙にてご紹介します。

立像が並び、厳かな雰

.....

去る11月29日、一般財 背面に回って見ると、小瀧、別有洞天などが見ら

団法人人間自然科学研究所 松昭夫理事長が20年前に、目を楽しめてくれた。中国語で書いている中国の本場で造らせた青る。

れ、「一帯一路の私の銅像を燕趙園に寄贈されスポットでは、「影壁、講演のため、島根県た物でした。そして右側梧竹幽園、迎水坊、七星

松江市に行きました。空には西王母と八仙人の像橋、荷池、三景軒、東配路八雲空港に降り立つが並び、日本の七福神の殿、西配殿、百花圃、松

と、主催者の小松昭夫（ルーツと云われている八石影壁、盆景山水、陰陽事長（小松電気産業株式 仙人（何仙姑、李鉄拐、廊、聴雨軒）などなど、

会社社長）、理事の佐野 呂洞賓、鍾離權、曹国多、多くの景勝スポットを
 馨氏、魏亜玲女史らに案 舅、韓湘子、張果老、藍 カ所にまとめて見せよう
 内されて、車で日本一の 采和）が海を渡り、参観 とする設計者の意図が窺
 中国庭園「燕趙園」観賞 者を方見下ろしていて、 えました。

園長が庭園の概略を話
いかにも長寿と幸せを授
けに行きました。

に行きました。

いかにも長寿と幸せを授
園長が庭園の概略を話

燕趙園に到着すると園
 けている様でした。松浦
 してくれた。それによる

長の松浦稔さんが出迎え 園長の説明を聞きながらと、島根県が25年前、巨

案内してくれた。極彩色 西垂花門を落り小さい橋 額（25億円）の予算を組
に彩られた燕趙門をくぐ を渡って内門を抜ける んで、一ヘクタールの湿

と、急に視界が広がり、地蔵
左手には天池山と言う築地、
山の上に眺池亭があり、省
少し進むと美しい池の天建
湖が左手に見え、池に錦所、
鯉が泳いでいた。池を散た。

地帯を整地し、庭園の敷地の本格的な中国庭園と瑠璃瓦を使用し、園内の地にした。一方中国河北省に對して造園の設計と中国庭園をそのまま再現する龍の彩画や美術工芸の建設の協力を要請したし、設計、資材調達、加數々を見ることができ、工まで全て中国で行い、一度仮組みした物を解体すること東郷湖の水景と、

そして、燕趙園は島根県と河北省との友好提携のシンボルとして平成七年に建設され、日本最大しか使用出来ない黄色の年に建設され、日本最大しか使用出来ない黄色の年の空間へと誘われる。

季節ごとに違った表情を
見せる園内は見応えがあ
った。

園内を散策したあと、イベントホールでの中国雑技公演を観賞、ここでは毎日三回雑技の舞台があり、その時上演した演目は、変臉、皿回し、樽回し、空竹の技などであった。熱心に解説してくれた園長にお礼と別れ挨拶を伝え、帰途についた。

車の中で、小松社長がこの界限は温泉場だよと教えてくれた。確かに観光の名所である。(完)

韓慶愈氏は招待され島根県「燕趙園」を訪れた



国際平和活動に貢献 松江の小松さん表彰

学習や献花を継続

国際問題の研究者などをつくる「国際アジア共同体学会」（約300人）の秋季大会が東京都内であり、国際平和への実践活動をたたえる「岡倉天心国際賞」に、シートシャッター製造大手の小松電機産業（松江市乃木福富町）社長の小松昭夫さん（75）が選ばれ、表彰を受けた。



「岡倉天心国際賞」を受け、あいさつする小松昭夫さん
〓 東京都千代田区、専修大

小松さんは1973年に同社を起業した。事業展開する傍らで、1994年に「人間自然科学研究所」を設立し、理事長として世界の戦争・平和記念館を訪問しながら、学習や献花、寄付を継続して島根県内でシンポジウムなどを開催している。

実績が認められ、2013年にオランダ・ハーグ市の平和宮100年記念式典で米IT大手マイクロソフト創業者のビル・ゲイツ氏などとともに「平和事業家、世界の20人」に選ばれた。

岡倉天心国際賞は同学会が初めて設けた。賞状を受けた小松さんは緊迫化する日中、日韓関係を挙げ「対立から共生の文化に変えた」とあいさつした。

（白築昂）

時事ドットコムニュース > 社会 > 松江の地方拠点企業が表彰＝世界平和活動で〔地域〕



松江の地方拠点企業が表彰＝世界平和活動で〔地域〕

2019年11月01日10時18分



Webデザイナー育成集中

￥26,820 ￥29,800

Webデザイナーになるためのコンテンツ制作講座。動画講座が使い放題。人生を変え...

ストアカ/学びのマーケット



小松電機産業（松江市）の小松昭夫代表取締役が、地方に拠点を置く企業の経営者として地道な世界平和活動に尽力してきた功績を認められ、国際アジア共同体学会から岡倉天心国際賞を授与された。都内で表彰式と記念講演が催された。

小松氏は、全国の地方自治体や関連施設向けの上下水道制御システムなどを提供する事業を松江市で営むかたわら、1994年に人間自然科学研究所を設立し、韓国や中国などでの市民交流や「対立の文明から共生の文化へ」をテーマとした研究、出版、講演活動などを手掛けている。

記念講演で小松代表は「出雲発の日本の縁結びを世界の縁結びにつなげたい」と今後の活動への抱負を語った。



岡倉天心国際賞を授与される小松代表取締役（右）＝10月26日午後、東京都千代田区

キーワードを入力

トップ

速報

映像

個人

特集

意識調査

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

松江の地方拠点企業が表彰＝世界平和活動で〔地域〕

11/1(金) 10:21配信

JIJI.COM 時事通信社



岡倉天心国際賞を授与される小松代表取締役（右）＝10月26日午後、東京都千代田区

小松電機産業（松江市）の小松昭夫代表取締役が、地方に拠点を置く企業の経営者として地道な世界平和活動に尽力してきた功績を認められ、国際アジア共同体学会から岡倉天心国際賞を授与された。都内で表彰式と記念講演が催された。

小松氏は、全国の地方自治体や関連施設向けの上水道制御システムなどを提供する事業を松江市で営むかたわら、1994年に人間自然科学研究所を設立し、韓国や中国などでの市民交流や「対立の文明から共生の文化へ」をテーマとした研究、出版、講演活動などを手掛けている。

記念講演で小松代表は「出雲発の日本の縁結びを世界の縁結びにつなげたい」と今後の活動への抱負を語った。

【関連記事】

【地球コラム】中国の「シリコンバレー」深センの進化と弱点
地方のテレワーク、体に良い？＝松江市、IT企業と実証実験
東和不動産、モータースポーツ事業で新会社＝富士スピードウェイで
北極LNGへの参加、最終決定＝経済フォーラムで調印＝三井物産
東京五輪・パラリンピックの【ホストタウン】に登録された自治体情報

最終更新:11/1(金) 13:38

時事通信

かお 顔

岡倉天心国際賞を受賞した

こまつ
小松 昭夫さん
あきお



国際平和への地道な取り組みが評価され、第7回岡倉天心記念賞の岡倉天心国際賞を受賞した。小松電機産業社長として事業経営の傍ら、19日韓関係の悪化、米国やロシア、中国を取り巻く不安定な情勢に「共生の

平和へ、歴史共有化を

世界各地の平和記念館の訪問、献花、寄付などの活動を展開。日中国交正常化30周年の2002年に湯梨浜町の中国庭園「燕趙園」に建立された孔子などの銅像は、太平洋戦争時に鳥取、島根の出身者が編成された部隊の犠牲者が多数出た中国山東省棗莊市と連携して寄贈した。

世界各地の平和記念館の訪問、献花、寄付などの活動を展開。日中国交正常化30周年の2002年に湯梨浜町の中国庭園「燕趙園」に建立された孔子などの銅像は、太平洋戦争時に鳥取、島根の出身者が編成された部隊の犠牲者が多数出た中国山東省棗莊市と連携して寄贈した。

地道な活動により13年、平和宮(オランダ・ハーグ市)100周年記念事業での「世界の平和

事業家20人」展の一人に、ノーベル賞誕生に大きく影響したアルフレッド・ノーベル氏(1833〜96年)らと共に選ばれた。香港での民主化を求め

(高埜正範)